



4342

大活内
本館
坂本袋町

洋西
造製子葉慶滋
誥北橋齋心阪大
堂月風田和

大活内

下云
美

廣文堂

一石文戒苑
廣文堂

西
滋慶葉子製造
大阪心齋橋北
和風月堂

本河晴助
竹染

生如廣太の生佛の彼名を重とると
先は性どりの此雲厚十二周の筆次
まひひさひさの月れ光うとふとていま
三とく室まの太意よむとてあはるる佛目
るやがひして生死のらまの算考とて後ま
女先とまむ悟心とてわはなとてうらと光
やうとてねあはれよむとてえんあ素

よむとて集めてのりていふ事(三)ありては後集を其の家を去り
ゆかりのまじりていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(四)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(五)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(六)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(七)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(八)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(九)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(十)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり

よむとて集めてのりていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(一)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(二)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(三)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(四)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(五)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(六)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(七)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(八)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(九)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり
事(十)は其集とていふ事ありては此れ其集とていふ事あり

ゆらり米のなるのころをまわすはあつたもいざあつた母の母
おまがうまがうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
まわらうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
とまわらうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
あつた神のまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
うまがうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
村のまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
うまがうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま

ゆらり米のなるのころをまわすはあつたもいざあつた母の母
おまがうまがうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
まわらうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
とまわらうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
あつた神のまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
うまがうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
村のまゝにうまがうまのまゝにうまがうま
うまがうまのまゝにうまがうまのまゝにうまがうま

空母我々海を交へて後番務院に渡りしに
さきも我々がうりやとては命をうりまき
さうもあつたやうであつたの死をうりまき
東海もよまれまの世にうりまき
らねまよまきとてうりまき
あつた不えれとてうりまき
うりまきとてうりまき
とてうりまきとてうりまき

とてうりまきとてうりまき
うりまきとてうりまき
さうもあつたやうであつたの死をうりまき
東海もよまれまの世にうりまき
らねまよまきとてうりまき
あつた不えれとてうりまき
うりまきとてうりまき
とてうりまきとてうりまき

よみたりていひきえんは文をたもつてあつら
わさつてまじりてあつらふはまじりてあつらひて
文をたもつてあつらふはまじりてあつらひて
中をたもつてあつらふはまじりてあつらひて
まじりてあつらふはまじりてあつらひて
つとむとひきえんは文をたもつてあつら
ひてあつらふはまじりてあつらひて
中をたもつてあつらふはまじりてあつらひて

らつとあつらふはまじりてあつらひて
まじりてあつらふはまじりてあつらひて
しつとあつらふはまじりてあつらひて
けつとあつらふはまじりてあつらひて
あつらふはまじりてあつらひて
あつらふはまじりてあつらひて
あつらふはまじりてあつらひて
あつらふはまじりてあつらひて
あつらふはまじりてあつらひて
あつらふはまじりてあつらひて

とらふんまわらうらうらふんまわらうらうら
今まゝえせぬうらうらやうらうらあまのうらうら
らうらうらのうらうらうらうらうらうらうらうら

元禄十六^{癸未}年霜月吉日

奈河晴助

右此字者依小子之慈胡王附秘寔
音節自遂校合令開版者也

加賀掾

二條通寺町西八町

山本九兵衛判

四十五三

